

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	福祉サービス事業所 森のせいかつ		
○保護者評価実施期間	8年 1月 5日		～ 8年 2月 6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 4名
○従業者評価実施期間	8年 1月 5日		～ 8年 2月 6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	8年 3月 6日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	定員10名ですが、看護師を2名配置しており、医療ケアが必要な利用者様を積極的に受け入れが出来る体制を整えております。	配置だけではなく、利用者様へのサービスの質の向上を目指し、研修への参加等を行いながら、個別の支援、必要なサービスの提供を適切に行う事ができるよう取り組みを行っています。
2	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	法定研修のみではなく、サービスの質の向上を目指し、利用者様への支援に必要な研修は、法人内で毎月開催しております。講師は、各事業所で交代で行う事で、より知識を深める事が出来ていると感じます。	今後は、事業所内で講師を交代し、資料作成等を行う事で知識を深めていく事が出来ると思います。事業所全体でスキルアップが出来るよう取り組みを行っています。
3	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	障がい特性に合わせ、ご家族と話し合いを行いながら、計画書を作成しております。その方に合った支援方法等を個別支援会議の中で意見交換し、行っております。また、昨年より、デジタルリハというリハビリを楽しく行う事が出来るデジタルツールを取り入れ、必要な利用者様の支援において、新しい取り組みを行っております。	アセスメントを見直ししながら、現在必要な支援を行う事が出来るよう取り組んでいきます。デジタルリハ等を取り入れ、負担なく楽しく必要なサービスを提供出来るよう行っていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障がいの特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	障がい特性に合わせた支援を行っており、個室が必要な利用者様が多いですが、個室が少なく対応できない事があります。パーテーション等を活用しておりますが、音を完全に防ぐ事が出来ない為、配慮不足であると感じる事があります。	医療ケアが必要な利用者様や強度行動障がい、自閉症の利用者様等が過ごされる環境の為、障がい特性に合わせ、皆様落ち着いて心地良く過ごせる環境に工夫をしながら整えていけたらと考えております。
2	父母の会の活動を支援する事や保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	保護者の方により、開催してほしい方、お仕事がお忙しく望まれていない方がいらっしゃいますので、皆様のご負担にならないような方法を現在考えております。	今年度は、ご希望されている方のみ少数で行いましたが、大変喜ばれておりましたので、今後も継続出来たらと考えております。どのような交流を求められているか、アンケート等を再度実施し、取り組みを行っていただけたらと考えております。
3	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われた支援の振り返り、気付いた点を共有しているか。	支援終了後は、送迎等もあり、全職員でその日に振り返り事をする事は難しい状況です。次の日に行っていますが、その日の振り返りが一番望ましいと思いますので、振り返りの方法を現在考えております。	利用者様の状態や現在抱えている悩み等はその日に職員全体で共有し、次の日の支援に繋げる事が大事であると考えております。利用者様が楽しく落ち着いて、心地よく過ごす事の出来る環境作りを努めていきたいと考えております。